

問 コミュニティの再構築が必要

答 環境整備に努める

問 各地域内にある公園・城址・緑地・公共施設の一部などの維持

答 村としても「住民力」を生かせる新たな「地域コミュニティ」の再構築が必要であると考ええる。

問 これからの長寿社会は、地域内での有償ボランティアや雇用関係による「地域コミュニティ」の再構築が必要になる。そこで村の予算約300億円のうちごく一部でも村内・地域内で循環するシステムを作り、地域住民が「ほまち」（臨時収入）を得る事ができる仕組み作りが必要である。



帆待ち（ほまち） 出帆を待つ間の船頭のかせぎ

答 管理は、管理費を払って地域の人に任せる。清掃活動などを通して公園への愛護心、地域環境の向上、地域のコミュニティの形成等が図られるので、住民力を生かして環境整備に努めていく。



みすずの会
江田 五六 議員

問 超高齢化・長寿社会への対策として、政府は「入院より在宅で」の方針である。これからの病院は急性疾患が中心で、慢性疾患や生活習慣病はかかりつけ

答 住み慣れた地域作りを目指す

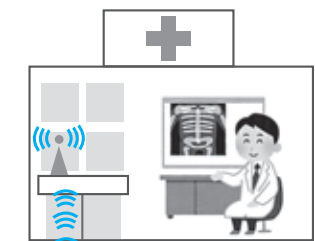
問 在宅医療相談センターが必要

答 「誰もが住み慣れた地域や施設で自分らしく暮らしを続けることができる」ことを目指す。

問 健康モデル都市を目指す

答 親しみやすい運動から取り組む

問 これからの長寿社会において、村民が健康で長生きするには、気軽に自宅周辺でスポーツに親しめる環境作りが必要である。



療養中の在宅高齢者の健康状態を24時間監視し、対応出来るセンター

問 スポーツ推進計画をつくり、スポーツに親しんでもらう。計

答 目標を達成するには、ラジオ体操、ウォーキング、卓球、ダンス、など手軽にできる運動から始めるのが良いと思う。

問 教育委員会と福祉部が連携して進める。

